

## 金

### 通学時間帯の住宅街ではスピードを落とそう

沢市の住宅街を走行していた乗用車が、登校のために自宅前の道路を横断していた小学4年生の女の子をはねる事故がありました。事故の現場は、住宅街を通る片側1車線の道路で、反対側には歩道が付いていますが、自宅側には狭い路側帯しかなく、女の子は横断歩道がない場所を渡っていたのではないかとことです。女の子は、自宅前のすぐ前で右から来た車にはねられ、20mも飛ばされたということです。乗用車はかなりのスピードで衝突したのではないかと思います。車を運転する者としては、登校時間帯に住宅街の片側1車線しかない狭い道路を走行しているのですから、自宅前から子どもが横断してくることを頭に入れておかなければなりません。そうした危険に対する予測があれば、必然的にスピードを落としたり、家屋の入口などから出てくる人をチェックするなどの行動をしたと思います。通学時間帯に住宅街を運転すること自体がリスクが高いわけですから、できれば走行しないようにすることが一番です。どうしても走行しなければならぬときには、スピードを落として慎重な運転をしてください。

## ま

### 秋は「早めの点灯」が重要です

まだまだ昼間の日差しが強く、残暑の厳しい日が続いていますが、日の入り時間はかなり早くなってきました。日没前の早めの点灯を意識しましょう。とくに秋になると、日没直後の歩行者事故が増えるというデータがあります。警察庁が2017年から2021年までの5年間に全国で発生した交通死亡事故を分析した結果によると、日没後1時間以内に道路横断中の歩行者が死亡した事故は、10月～12月が271件で、7～9月の131件に比べて2.1倍も多くなりました。同庁の分析では、「日没が早くなり、帰宅や買い物などで出歩く人が多い時間帯と重なるため」とのことです。このため同庁では、9月21日から始まった秋の全国交通安全運動などの機会に「薄暮早めの点灯キャンペーン」を推し進める方針です。私達も、日没前後に買い物や帰宅などのため道路を横断する歩行者の見落としを意識し、早めの点灯を心がけましょう。

### 車輪止めの外し忘れに気をつけよう

## 横

浜市旭区内でゴミ収集車が右後輪に設置していた輪止めを回収しないまま発進し、乗り上げた反動で輪止め（重さ2～3kg）が弾き飛んで、近くを歩いていた女性（30代）に当たり、女性がスネの骨を折る重傷を負いました。ゴミ収集車は運転者（60代）と男性助手の2人で作業していて、本来は運転者が回収する役割だったということです。どんな人でも、急いでいたりすると輪止めを設置したことを忘れて発進してしまうおそれがあります。ですから、写真のような釣り札を用意し、輪止めを設置したときは必ずドアノブなどに掛けるようにして、回収忘れを防ぐように心がけましょう。

